

DX推進にあたっての計画



Copyright© 2024 BestSkip Co.,Ltd. All Rights Reserved

2023年12月14日策定
2024年5月29日改定
ベストスキップ株式会社
代表取締役 高松 光

■ 経営戦略

近年、あらゆる産業において、新たなデジタル技術を使ってこれまでにないビジネスモデルを展開し、技術的変革が起こるなか、多くの企業も自らデジタルトランスフォーメーションを進めております。そのような中で、弊社ではこれまで培ってきたシステムインテグレーションでの高い技術力や業務ノウハウを活用・事例化して、顧客が本当に必要とするものとは何かを常に考え、それに応えられるソリューションが提供できるように努めております。

■ DX戦略ビジョン

DXを推進するにあたっては、システムインテグレーションで蓄積したデジタル技術やビジネスモデル・ノウハウを活用して①社内におけるDX推進と②お客様に対するDX推進ソリューションに分割して推進します。

① 社内におけるDX推進

- 社内における管理業務全般のペーパーレス化の推進
- 勤怠管理システム・給与計算システムなどコーポレート業務のクラウドサービスの導入
- プロジェクト管理ツールの導入

② お客様に対するDX推進ソリューション

- AIを活用したDXソリューションの展開（Japan IT Week2024春、AI・業務自動化展に出展）
- ローコードパッケージによるDXソリューションの展開(計画中)
- 過去開発事例(ノウハウ)を活用したDXソリューションの展開

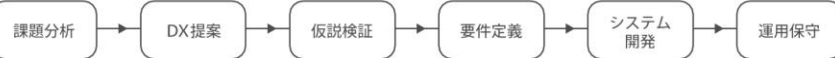
DX戦略

お客様に対するDX推進ソリューションの戦略として、弊社の開発実績に基づく事例集(ノウハウ)を基に、お客様が抱える課題に対して蓄積されたデータの利活用、新たなデータ収集と活用などデジタルで解決するためのコンサルティングから開発・保守までワンストップでサービスをご提供します。

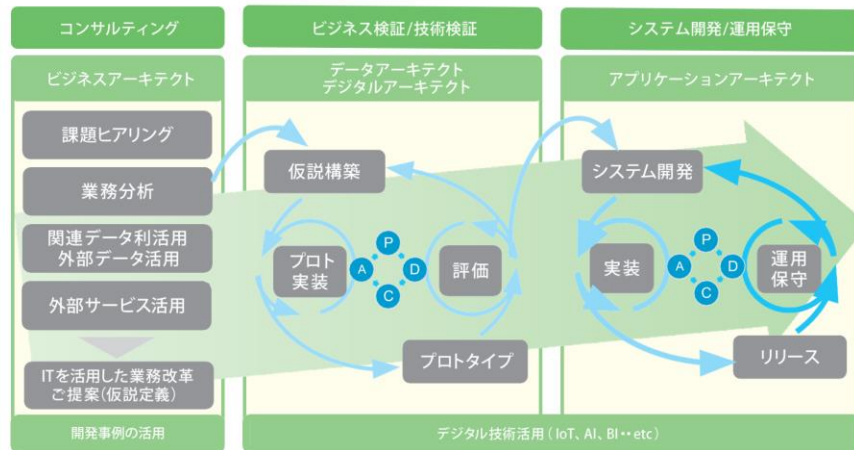
また、AIテクノロジーをベースに、主にヘルスケア関連向けのソリューションサービスを拡充して、社会に貢献できるデジタルトランスフォーメーション(DX)を推進します。

BestSkip DX Service

DX推進支援サービス事業



BestSkip DX Service
コンサルティングから開発・運用保守までをワンストップでご提供



DX推進 (2024年度に向けた事業計画)

SI関連推進 (既存事業)

【既存ビジネス】
「システムインテグレーションモデル」
既存顧客の深耕

顧客と新たなビジネスを創出する
「ビジネス共創モデル」
新規顧客開拓

【飛躍】蓄積した技術やノウハウを活用した「サービス提供モデル」

ヘルステック (ヘルスケア+IoT+AI)
今年度中国社区老人向けサービス実現
社区向けERPクラウドサービス
(2024年4月リリース予定)

個別開発
ヘルスケア関連 (H社Gr)
AI見守り/文章生成 (T社Gr)
コミュニケーションロボット (T社Gr)

他分野 (サービス) 模索

新事業検討 (WG活動)

新事業検討
(2件/期具現化)

AI技術習得
(G検定20名取得)

テクノロジー

ソースのAIソリューション
(診断・生成)
Hugging Face

生産性アップtool
angular自動生成

AIテクノロジー (画像・音声・テキスト解析)

診断書取込
AI-OCR

早期健康予知
ビッグデータ分析

健康予防・未病
外部サービス連携

転倒検知
画像解析: 骨格分析

感情検知 (喜怒哀楽)
画像解析: 表情分析

画像分析比較 (画像解析: 骨格分析)
リハビリ、ゴルフ、野球などスポーツ全般、作業など

文章自動生成
ChatGPT

位置情報
UWB

主な既存技術



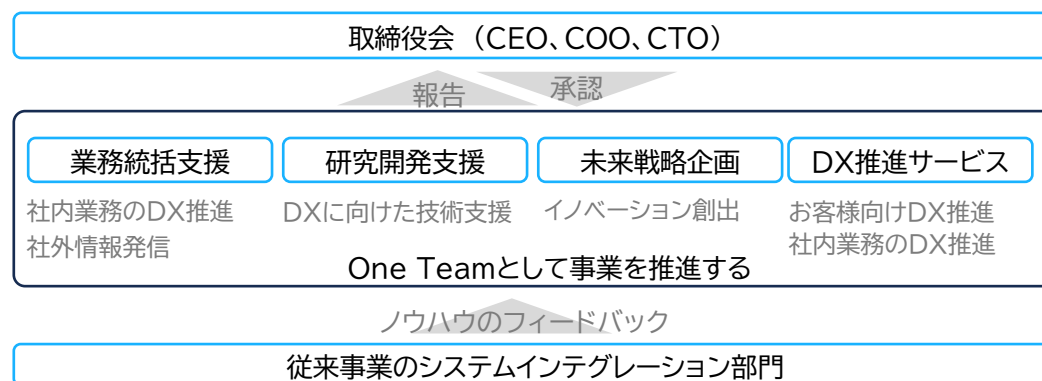
人材育成

- 新人/中堅教育
- キャリアアップ/コース教育
- マネージメント教育
- 市場動向/マーケティング
- 新技術習得

■ 推進体制

取締役会のDX推進責任部門(代表取締役が責任者)として、DX事業推進に取り組みます。
社内DX推進は「業務統括支援」部門が担当し、お客様に対するDX推進は「DX推進サービス」部門が担当。
また、全体の技術支援は「研究開発支援」がサポートします。

さらに、デジタル技術・アイデア創出では、「未来戦略企画」を設置して、全社員参加型の推進体制で変革を目指します。



■ 人材育成

全社員を対象としたDX推進における人材育成に注力して、よりDX推進事業の加速化を図ります。

- ① 社員全員の意識改革研修(デジタル人材育成)
- ② AI技術資格(G検定・E資格)の取得推進
- ③ 新技術取得の勉強会開催
- ④ 各種セミナー・交流会、展示会への参加促進、産学連携により交流深耕

■ DX推進目標と進捗状況

① 人材育成

- AI技術資格： G検定・・・10人/年間取得、E資格・・・3人/年間取得
- 各種セミナー・交流会、展示会への参加促進、産学連携により交流深耕・・・1回以上/月の参加
- 社員全員の意識改革研修(デジタル人材育成)・・・1回以上/期の開催

② DX事業による業績向上

- DX管掌部門の売上拡大・・・30%/年間売上拡大

③ 社内DX推進による業務効率向上

- 社内システム最適化
- クラウドサービスの活用拡大
- ペーパーレス化
- スタッフ部門の業務効率向上
- 開発作業支援用AIツールの開発と利用

■ セキュリティ

① セキュリティ監査

- IPAが発行する「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」に則りセキュリティ監査を年1回実施。

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>

② 具体的対策

- オフィス内ネットワークを社内業務用とプロジェクトごとの開発用に分離し外部アクセスの制御、情報漏洩の防止を実施。
- Proxyサーバを導入してインターネットのアクセス制御を強化。

③ 認証、資格

- 情報セキュリティを事業継続の重要な経営基盤と位置付け、下記の認証および資格を取得して継続活動しております。

■PMSプライバシーマーク認定活動

登録番号:第17002977(03)号

■ISMS情報セキュリティの活動推進

適用規格:JIS Q 27001:2014(ISO/IEC27001:2013)を取得予定

■個人情報保護士の取得推進

全日本情報学習振興協会実施、スタッフによる資格取得の推進